

心の温度を上げるおはなし

聞いてみませんか

子育て教育講演会

子どもたちの豊かな将来のために、私たち親（大人）は子どもたちをどのように育て、子どもたちとどのように向き合えばよいのでしょうか。

いつ直面するかも分からない「いじめ」「不登校」「引きこもり」「虐待・暴力」など、その根っこにあるものや、キーワードを一緒に考えてみませんか。

◆日時 11月12日（土）

14時～16時

◆会場 保健福祉センターなわ
◆演題 「心の温度が上がる
家庭・学校・地域
心の絆の育成」



▲お申し込みは「寺子屋」にお電話ください

◆内容 体温が下がると体の免疫が大きく下がるのと同じ様に、「心の温度」の低下も心の免疫を低下させます。多くの人たちの「心の温度」が低下しています。そこで、「心の温度」を上げるためにどうしたらよいのかを、一万人以上のカウンセリングの実践からお話していただきます。「心の温度」を上げることが人間の生きる意味の再発見につながっていきます。

◆講師 田中正人氏（カウンセリング&セラピーソールメイト代表、松阪市中心の支援センター教育カウンセラー、公益財団法人モラロジー研究所社会教育講師）

◆申込みおよび問い合わせ

参加を希望の方は、11月7

日（月）までに、大山町教育支援センター「寺子屋」（電話0859・54・2037）に電話でお申し込みください。

大山寺

豪円僧正四百回忌追善法要および関連催事 開催！

～ 角磐山大山寺開創1300年記念事業 始まる ～

10月2日（日）、大山寺本堂で豪円僧正四百回忌追善法要が営まれ、重要文化財阿弥陀堂、圓流院では関連催事が行われました。

豪円僧正は、7歳で大山寺に入り、9歳で剃髪得度、25歳ごろに比叡山延暦寺に移った後に頭角を現して、権大僧正に任ぜられた高僧です。大山寺領の保全に尽力し、徳川幕府から大山寺領3000石の朱印状を受ける大事業を成した慶長15（1610）年に76歳でこの世を去りました。その功績から大山寺中興の祖と称えられ、今年が没後400年目にあたります。

大山寺では開創を718年（養老2年）と伝えており、平成30年（2018）が開創から1300年目に当たることから、大山寺を中心に「角磐山大山寺開創一千三百年記念事業」が計画されています。このたびの豪円僧正四百回忌追善法要は関連催事とあわせて、その初回事業として行われました。

追善法要は来賓100人や関係者の参列の中で行われました。関連催事では、重要文化財阿弥陀堂で「引声阿弥陀経」の披露、杉本良巳氏（大

山寺宝物館名誉館長）の「大山寺と天台の高僧の歩み」と題した記念講演が行われました。また、圓流院では、音楽奉納法要「悠久の日本の心の響き」として、中村朋一氏の尺八、久東寿子氏の箏による演奏が披露されました。

今後も開創1300年に向け、重要文化財の木造阿弥陀如来および両脇侍像の修復をはじめ、さまざまな企画が計画される予定です。



▶ 杉本良巳氏による記念講演（阿弥陀堂）